

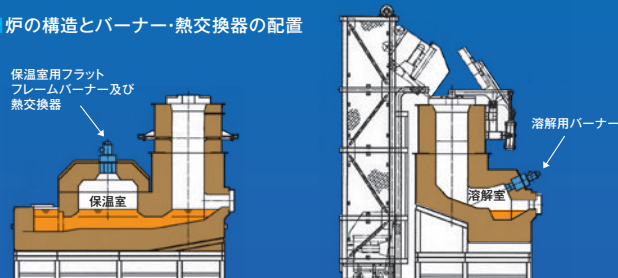
困難な「溶解炉の清掃作業」から解放されるFreedom®は多くの国で採用され、手元溶解炉の世界標準を目指します。



酸化物抑制炉 Freedom®

溶解室と保温室は互いに独立制御。保温室での酸化物の発生量が極めて少なく、清掃は年に1～2回程度です。

■ 炉の構造とバーナー・熱交換器の配置



フリーダムは、溶解室には高効率のバーナーを、保温室にはフラットフレームバーナーと熱交換器を採用しております。これらの相乗効果により、炉内の雰囲気温度を下げ、かつ炉内の残留酸素濃度を抑制し、わずかな清掃回数(年1～2回程度)で済むレベルまで酸化物の発生を抑えることを実現。ユーザー様よりご好評をいただいております。

(一例:200kg/時間の溶解炉で他社比較 酸化物ロス、エネルギー費削減等で年間約500万円のコストメリットがあります)

会社概要 (2023年9月30日現在)

社名	日本ルツボ株式会社(登記上社名:日本坩堝株式会社) Name:Nippon Crucible Co., Ltd.
設立	明治39年(1906年)12月
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル TEL(代表): 03-3443-5551 FAX: 03-3443-5191
資本金	7億452万円
証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
会計監査人	グローリー監査法人
証券コード	5355
従業員数	連結 259名 単体 165名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
株式に関する お手続きについて (住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合 (特別口座) みずほ信託銀行(TEL:0120-288-324)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告(https://www.rutsubo.com/) (ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)

経営理念

わが社は、創造性豊かな活力に満ちた役職員により、伝統を守りつつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指します。

Heart&Spirit

当社は、明治18年の創業以来、お客様ニーズを的確に把握し新製品の開発、新ジャンルの開拓を推進してまいりました。21世紀も、その姿勢は変わりません。

Ecology

当社は、どんなに優れた技術であっても地球環境にダメージをあたえてはならないと考えます。環境に対して求められるもの、必要なものを展望しながら製品・設備を提供してまいります。

Challenge

「現状維持は退化につながる」という発想のもと、常に新しい技術を開発し続け、新しい分野への進出によりお客様の満足を実現してまいります。



日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

URL:<https://www.rutsubo.com/>



Heart&Spirit Ecology Challenge

NIKKAN

Report

第184期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

証券コード 5355

当社は、グループ丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産・輸出の回復を受けて景気の緩やかな回復が続いております。先行きについては、各種の政策効果もあって景気の緩やかな回復が続していくことが期待されますが、物価上昇や為替変動のリスクなどを十分に注視する必要があります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、販売台数及び生産台数の前年同月比増加が続いており、部品の供給制約緩和の影響もあって持ち直しの動きが継続すると見込まれます。

鉄鋼産業は、自動車向けを中心に需要の回復が見られますが、産業機械や建築向けが減少しており、海外経済の景気減速等の下振れリスクにも注意を払うことが必要な状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48億1千1百万円と前年同四半期比12.3%増加いたしました。利益面では、営業利益は1億3千8百万円（前年同四半期比29.8%増）、経常利益は1億3千1百万円（前年同四半期比1.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7百万円（前年同四半期比67.6%増）となりました。

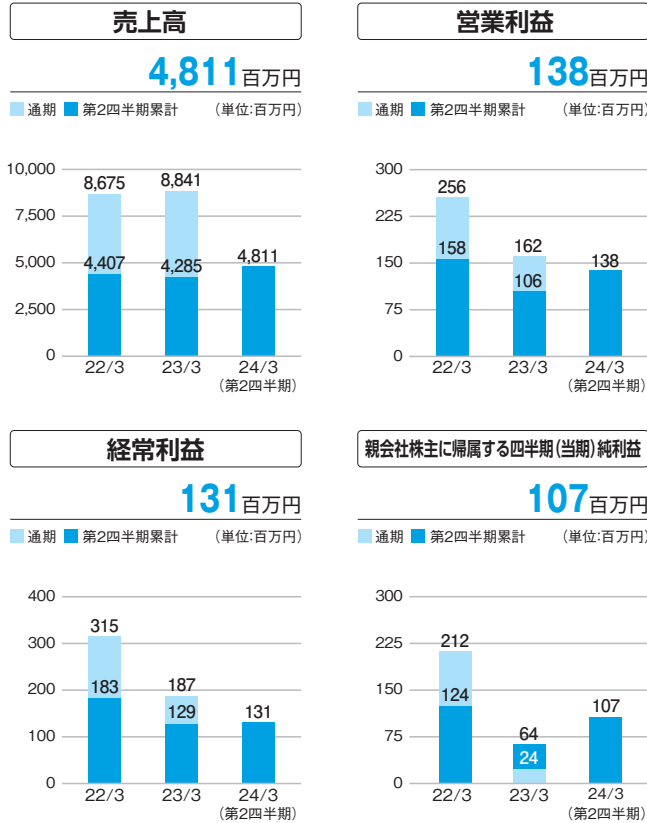
当社は、グループ丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。

今後とも、株主の皆様より変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

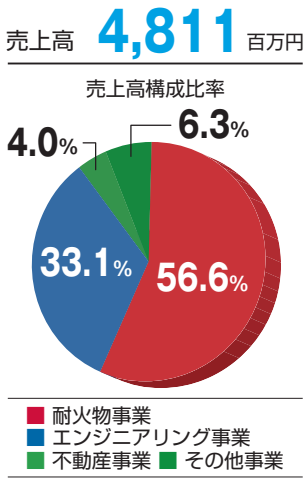
代表取締役社長

西村 有司

連結財務ハイライト



セグメント別概況(連結)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)		(単位:千円)
	当第2四半期連結会計期間 (2023.9.30)	前連結会計年度 (2023.3.31)
資産の部		
流動資産	6,609,793	6,607,155
固定資産	4,140,415	4,177,585
(有形固定資産)	(2,057,658)	(2,132,311)
(無形固定資産)	(217,988)	(251,245)
(投資その他の資産)	(1,864,768)	(1,794,027)
資産合計	10,750,208	10,784,740
負債の部		
流動負債	3,667,255	3,533,798
固定負債	1,824,680	2,051,262
負債合計	5,491,936	5,585,061
純資産の部		
株主資本	4,771,343	4,777,318
その他の包括利益累計額	486,928	422,360
純資産合計	5,258,271	5,199,679
負債純資産合計	10,750,208	10,784,740

四半期連結損益計算書(要旨)		(単位:千円)
	当第2四半期連結累計期間 (2023.4.1~2023.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (2022.4.1~2022.9.30)
売上高	4,811,763	4,285,733
売上総利益	1,260,004	1,272,105
営業利益	138,524	106,755
経常利益	131,192	129,047
税金等調整前四半期純利益	143,192	128,473
四半期純利益	107,429	64,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	107,429	64,097

耐火物事業



売上高 2,725百万円

鑄造市場向けは、主として不定形耐火物及び鑄物材料の販売増加により、売上が増加いたしました。鉄鋼市場向けは、当社がメンテナンスを担当している高炉での受注が大幅に増加したことにより、売上が増加となりました。その結果、耐火物事業全体の売上高は前年同四半期比9.0%増加いたしました。

エンジニアリング事業



売上高 1,591百万円

工業炉市場向けについては、新製品であるフリーダム炉の受注が順調に進み、売上が増加いたしました。また、環境・工事市場向けについては、民間焼却設備を中心に安定的に受注を確保したことにより、売上が増加となりました。その結果、エンジニアリング事業全体の売上は前年同四半期比20.3%増加いたしました。

不動産事業・その他事業



売上高 494百万円

本社ビルの賃貸事業は、立地条件の良さから100%の入居率を維持しております。また、太陽光発電事業についても、安定した収益事業となっております。塗料循環装置事業は、主要先からの受注回復もあり、売上は増加いたしました。

(注) 1. 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
2. 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高または振替高を含む売上高で表示しております。